

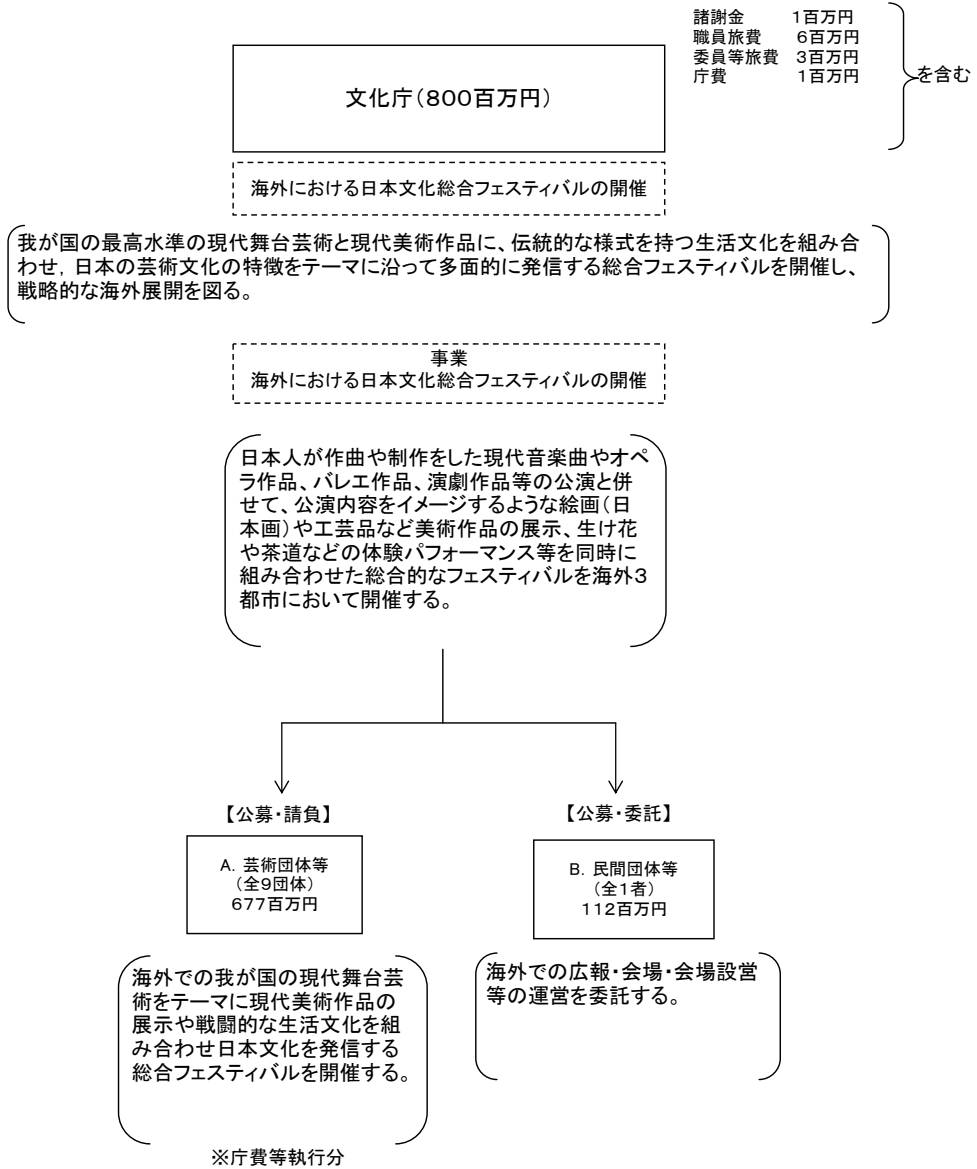
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	海外における日本文化総合フェスティバルの開催		担当部局	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	芸術文化課		芸術文化課長 山崎秀保		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際社会において我が国が一層の存在感を示すためには、海外に向け、日本の多彩な文化芸術を総合的に幅広く発信していくことが必要不可欠である。このため、「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)」(平成23年2月8日閣議決定)を踏まえ、伝統文化から現代の文化芸術活動に至る我が国の多彩な文化芸術を積極的に海外発信するとともに、文化芸術各分野における国際文化交流を推進することにより、文化芸術水準の向上を図るとともに、我が国に対するイメージの向上や諸外国との相互理解の促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本人が作曲や制作をした現代音楽曲やオペラ作品、パレエ作品、演劇作品等の公演と併せて、公演内容をイメージするような絵画(日本画)や工芸品など美術作品の展示、生け花や茶道などの体験パフォーマンス等を同時に組み合わせた総合的なフェスティバルを海外3都市において開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算						800
		補正予算						
		繰越し等						
		計						800
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	我が国の多彩な芸術文化を積極的に海外に発信するものであるが、成果が定量的に現れにくいものであり、定量的な目標を設定することは困難である。		成果実績					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	3公演、2展示、6体験事業を3都市で開催する。		活動実績 (当初見込み)				()	※24年度の活動見込である ()
単位当たり コスト	263(百万円/1都市)		算出根拠	要求額(事業費+委託費) 789百万円/3都市				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		1					
	職員旅費		6					
	委員等旅費		3					
	庁費		1					
	芸術祭等運営費		677					
	文化芸術振興委託費		112					
	計		800					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>アニメ、マンガ、デザイン、ファッションといった「クール・ジャパン」の源流にある、日本の伝統文化から現代の文化芸術活動に至る多彩な我が国の文化芸術を積極的に海外発信することは、我が国の文化芸術の水準向上に繋がるとともに、我が国に対するイメージアップや相互理解の促進に多大な貢献をするものである。これまでも個々の国際交流活動は一定の評価を受けてきたが、更なる日本文化の理解への深化を図るために本事業は有効な事業である。「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)」(平成23年2月8日閣議決定)に基づき、我が国の多彩な文化芸術を積極的に海外に発信するとともに、文化芸術各分野における国際文化交流を推進し、文化芸術水準の向上を図ることは国の責務であり、本事業は国が実施すべきものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 芸術団体等(全9団体)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	公演費@24.93百万円×9団体 体験事業@36百万円×3カ国	332			
旅費	派遣旅費 のべ318人	324			
運搬費	@6.78百万円×3カ国	20			
	※表示単位未満四捨五入の関係で、 積み上げと合計は一致しない				
計		677	計		0
B. 民間団体等(全1者)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	現地運営経費@29.36百万円×3カ国	88			
印刷・製本費	@6百万円×3カ国	18			
広報・宣伝費	@2百万円×3カ国	6			
計		112	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0